



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所
 コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宮地 國雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員総務本部長 (氏名) 中村 嘉治

TEL 0791-75-4160

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,420	△3.7	370	18.2	403	275.4	214	545.1
29年3月期第1四半期	4,588	6.4	313	51.8	107	△68.9	33	△76.8

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 144百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △287百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	10.53	—
29年3月期第1四半期	1.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	31,978	24,729	77.0	1,219.91
29年3月期	33,037	24,786	75.0	1,215.80

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 24,636百万円 29年3月期 24,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,334	2.8	690	△7.3	738	51.4	428	23.5	21.04
通期	19,652	1.9	1,839	7.4	1,928	8.7	1,263	0.9	61.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	20,400,138 株	29年3月期	20,400,138 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	128,438 株	29年3月期	12,838 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	20,358,674 株	29年3月期1Q	20,387,388 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、雇用環境の改善や設備投資の持ち直しが続く等、景気の緩やかな回復基調が続いております。中国では、公共投資等の景気刺激策に伴い、個人消費や民間設備投資等にもプラスの動きが見られる等、景気減速に歯止めがかかり、持ち直しに転じております。また欧州においても、製造業が牽引役となって緩やかな景気回復が続いている等、世界経済全体としては緩やかな回復傾向にあります。しかし、米国の政策実現への懐疑や英国のEU離脱交渉の難航等の政治情勢による影響、中国での構造調整再開に伴う景気の減速懸念等、いまだ世界経済の不透明感は拭えておりません。

わが国経済は、雇用所得環境の改善を受けた個人消費の持ち直しや、設備投資の拡大基調の継続等により、景気は緩やかな持ち直しが続いておりますが、海外経済の先行き不透明感の強まりによる景気の下振れリスクが残っております。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内市場においては、ポンプ事業は設備更新需要を中心に堅調に推移したものの、電子部品事業の売上減少により、低調に推移いたしました。一方、海外市場においては、米国市場における前期の受注不振の影響等があったものの、中国市場での売上の回復から全体としては堅調に推移いたしました。

これらの結果、グループ全体として売上高は44億20百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

利益面につきましては、粗利率の改善等により、営業利益は3億70百万円（同18.2%増）となり、為替差益13百万円の発生等により、経常利益は4億3百万円（同275.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億14百万円（同545.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ポンプ事業

ポンプ事業は、国内市場では、電力関連機器モータポンプが減少したものの、ケミカル機器モータポンプ、冷凍機・空調機器モータポンプ等が増加いたしました。中国市場では、ケミカル機器モータポンプ、電力関連機器モータポンプが増加いたしました。また米国市場では、メンテナンス関連等が増加したものの、ケミカル機器モータポンプ、冷凍機・空調機器モータポンプが減少いたしました。

その結果、売上高は38億16百万円（前年同期比0.5%増）、連結売上高に占める割合は86.3%となりました。

また、営業利益は、粗利率の改善等により、3億33百万円（同11.6%増）となりました。

② 電子部品事業

電子部品事業は、売上高4億91百万円（前年同期比29.0%減）、連結売上高に占める割合は11.1%となりました。

また、営業利益は、粗利率の改善等により、28百万円（同169.6%増）となりました。

③ その他

その他は、売上高は1億13百万円（前年同期比15.9%増）、連結売上高に占める割合は2.6%となりました。

また、営業利益は、売上の増加並びに販売費及び一般管理費の減少等により、8百万円（同112.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は194億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億42百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が21億71百万円減少したことによるものであります。固定資産は125億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億83百万円増加いたしました。これは主にのれんが8億37百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、319億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億58百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は53億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億78百万円減少いたしました。これは主にその他が8億56百万円減少したことによるものであります。固定負債は19億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、72億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は247億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が1億77百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.0%（前連結会計年度末は75.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,256,363	7,084,827
受取手形及び売掛金	7,319,867	6,478,154
製品	1,002,009	1,309,293
仕掛品	1,964,771	1,871,793
原材料及び貯蔵品	1,116,945	1,239,554
その他	1,058,855	1,679,776
貸倒引当金	△254,596	△241,693
流動資産合計	21,464,216	19,421,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,015,408	4,988,885
その他（純額）	4,127,388	4,143,164
有形固定資産合計	9,142,797	9,132,049
無形固定資産		
のれん	—	837,031
その他	436,057	459,870
無形固定資産合計	436,057	1,296,902
投資その他の資産	1,994,137	2,127,856
固定資産合計	11,572,991	12,556,808
資産合計	33,037,208	31,978,514
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,237,914	1,993,763
短期借入金	502,547	577,567
未払法人税等	223,493	300,333
製品保証引当金	17,338	11,870
賞与引当金	450,953	227,239
その他	3,081,985	2,225,452
流動負債合計	6,514,232	5,336,226
固定負債		
長期借入金	—	121,100
退職給付に係る負債	1,036,778	1,056,735
その他	699,281	734,745
固定負債合計	1,736,059	1,912,581
負債合計	8,250,292	7,248,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,118,118	3,118,118
資本剰余金	3,306,347	3,306,347
利益剰余金	17,183,663	17,234,995
自己株式	△9,803	△142,024
株主資本合計	23,598,326	23,517,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556,974	657,454
為替換算調整勘定	706,555	528,631
退職給付に係る調整累計額	△74,941	△67,456
その他の包括利益累計額合計	1,188,589	1,118,630
非支配株主持分	—	93,639
純資産合計	24,786,915	24,729,706
負債純資産合計	33,037,208	31,978,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,588,348	4,420,770
売上原価	2,963,591	2,690,529
売上総利益	1,624,756	1,730,240
販売費及び一般管理費	1,310,938	1,359,268
営業利益	313,818	370,971
営業外収益		
受取利息	1,987	1,036
受取配当金	16,424	18,341
受取賃貸料	6,878	7,442
為替差益	—	13,046
その他	10,847	12,745
営業外収益合計	36,137	52,612
営業外費用		
支払利息	10,030	11,183
為替差損	229,597	—
その他	2,848	8,896
営業外費用合計	242,476	20,080
経常利益	107,478	403,503
特別利益		
投資有価証券売却益	3,735	—
特別利益合計	3,735	—
税金等調整前四半期純利益	111,214	403,503
法人税等	77,976	188,018
四半期純利益	33,238	215,485
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,054
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,238	214,430

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	33,238	215,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,419	100,479
為替換算調整勘定	△245,882	△178,459
退職給付に係る調整額	8,045	7,485
その他の包括利益合計	△320,255	△70,494
四半期包括利益	△287,017	144,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△287,017	144,471
非支配株主に係る四半期包括利益	—	518

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式115,600株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が132,221千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が142,024千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結累計期間において、Hydrodyne (India) Pvt. Ltd. 社株式の51%を取得し、同社を子会社としたため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,798,797	691,953	4,490,751	97,597	4,588,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,798,797	691,953	4,490,751	97,597	4,588,348
セグメント利益	299,175	10,473	309,648	4,169	313,818

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	309,648
「その他」の区分の利益	4,169
四半期連結損益計算書の営業利益	313,818

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,816,089	491,533	4,307,622	113,147	4,420,770
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,816,089	491,533	4,307,622	113,147	4,420,770
セグメント利益	333,857	28,239	362,096	8,875	370,971

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	362,096
「その他」の区分の利益	8,875
四半期連結損益計算書の営業利益	370,971

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ポンプ事業」セグメントにおいて、平成29年4月12日付でHydrodyne(India)Pvt.Ltd. 社株式の51%を取得したことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては886百万円であります。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	4,343,910	27.5
電子部品事業 (千円)	491,538	△29.0
報告セグメント計 (千円)	4,835,449	18.0
その他 (千円)	107,474	33.6
合計 (千円)	4,942,923	18.3

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
ポンプ事業	5,112,975	50.7	7,352,127	10.0
電子部品事業	499,627	△28.0	166,670	△28.3
報告セグメント計	5,612,603	37.3	7,518,797	8.7
その他	137,399	△1.4	93,443	△30.4
合計	5,750,002	36.1	7,612,241	7.9

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	3,816,089	0.5
電子部品事業 (千円)	491,533	△29.0
報告セグメント計 (千円)	4,307,622	△4.1
その他 (千円)	113,147	15.9
合計 (千円)	4,420,770	△3.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。